

特定非営利活動法人  
バイオマス北海道

2022年度  
通常総会議案書



2022年4月27日（水）

# 特定非営利活動法人バイオマス北海道

## 2022年度総会 議事次第

### 1. 理事長挨拶

### 2. 来賓ご挨拶 北海道環境生活部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課 ゼロカーボン推進担当課長 奈良 華織 様

### 3. 議事

#### ① 議長選任

#### ② 総会出席者・委任状取りまとめの報告

#### ③ 審議

・ 第1号議案 2021年度事業報告および決算

・ 第2号議案 2022年度事業計画および予算

#### ④ 議長退任

第1号議案 2021年度  
事業報告および決算

2021年度の事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業の成果

当法人の活動目的を達成するため、下記の事業を中心に実施した。

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業
- (3) その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費 の金額 (単位：千円)
バイオマス 利活用を推 進するた めの普及・啓 発事業	○バイオマス利活用講座の 開催及びITを利用した講座 の公開	コロナ禍のため未実施		0
	○HP運営 上記利活用講座実施配布資 料のデータベース作成	(A) 2021年4月1日～ 2022年3月31日迄 (B) 北海道大学工学研究院 (C) 3人	(D) 会員 (E) 43人	0
	○バイオマス関連NPOとの 連携・交流 ①「まなびまくり社」の講 座、発表会にオンライン出 席	(A) 2021年6月25日、7月16 日、8月20日、9月24日、10 月13日 (B) オンライン (C) 4人	(D) 会員 (E) 43人	50
バイオマス 利活用を推 進するた めの研究開発 事業	○北大寄附分野バイオマスコミュ ニティプランニングとの 連携事業	(A) 2021年4月1日 ～2022年3月31日 (B) 北海道大学工学研究院 (C) 10人	(D) 会員、道内市町 村、講座参画企業 (E) 不特定	0
	①北海道大学バイオマスコミュニ ティプランニング第3回シンポジウム	(A) 2021年10月6日 (B) 全国町村会館（東京） & オンライン同時開催 (C) 10人	(D) 会員、道内外市 町村、道内外関連 企業、一般関係者 (E) 129名	0
	②北海道バイオマスネットワークフォー ラム2022&北大寄附分野バイオマ スコミュニティプランニング第1回セミナー	(A) 2022年2月22日 (B) オンライン方式 (C) 10人	(D) 会員、道内外市 町村、道内外関連 企業、一般関係者 (E) 200人	0
	○北海道バイオマスネット ワーク会議との連携	同上	同上	0

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費 の金額 (単位：千円)
その他バイオ オマス利活 用を推進す るために必 要と認めら れる事業	○バイオマスカフェ の開催			0
	①第1回	(A)2021年6月29日 (B)オンライン方式 (C)3人	(D)会員 (E)12人	
	②第2回	(A)2021年8月4日 (B)オンライン方式 (C)3人	(D)会員 (E)12人	0
	③第3回	(A)2021年12月28日 (B)ハイブリッド方式 (C)3人	(D)会員 (E)14人	0
	④第4回	(A)2022年1月19日 (B)ハイブリッド方式 (C)3人	(D)会員 (E)15人	78.2
	○セミナー等			
	・エネルギー地産地消 セミナー	(A)2021年8月25日 (B)オンライン方式 (C)4人	(D)会員 (E)不特定	0
	・特別講演会/ 研究ポスター発表会	(A)2021年11月26日 (B)北大学術交流会館 (C)3人	(D)会員 (E)4人	0
	・シンポジウム 北海道らしい脱炭素 社会を目指して	(A)2021年11月26日 (B)北大学術交流会館 (C)3人	(D)会員 (E)不特定	0
	・第2回再生可能 エネルギーセミナー	(A)2022年2月4日 (B)オンライン方式 (C)3人	(D)会員 (E)不特定	0

(2) その他の事業

なし

## 2021年度（令和4年度）NPOバイオマス北海道 活動報告資料

### I. 会議推移等

#### 1. 第1回理事会（旧理事）

日時：2021年4月19日 メールによる書面方式

概要：2021年度通常総会議案決定

#### 2. 通常総会

日時：2021年4月28日 対面方式 於：札幌サンプラザ

概要：事業報告および決算、事業計画および予算、新理事決定

#### 3. 第2回理事会

日時：2021年5月14日 メールによる書面方式

概要：新理事長決定

#### 4. 第3回理事会

日時：2021年5月25日 メールによる書面方式

概要：新役員、顧問決定

#### 5. 第4回理事会

日時：2021年6月29日 メールによる書面方式

概要：実施方針および担当者決定

#### 6. 2022年度第1回理事会

日時：2022年4月18日 メールによる書面方式

概要：2022年度通常総会議案決定

※法人登記変更済 2021年（令和3年）9月10日

理事長他役員変更による

## II. 事業の実施

### 1. バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業

#### 1-1 バイオマス利活用講座の開催及び IT を利用した講座の公開

コロナ禍による第4波～第6波の感染者連続増大による会場等に種々の制約があり、北海道庁担当部署との接触も含め、具体的実施を自粛し延期しました。

#### 1-2 HP の運営

事務局にて役員交代等による内容更新、及び2015～2020年6年間に亘って実施してきた利活用講座の項目と内容を整理しました。今後は以下のような項目についてさらに検討していく予定です。

- ・利活用講座資料内容の公開方法。
- ・バイオマス活用に関する問合せ、紹介コーナーの設置。
- ・関連団体リンク

#### 1-3 バイオマス関連 NPO との連携・交流

##### 1) まなびまくり社 2021

全世代型のまちづくりの一環として「探求」「協同」「交流」などをテーマとして活動している林匡宏代表主宰の若者プロジェクト活動講座、発表会に本 NPO 有志が計4回（オンライン3回、対面1回）参加しました。

藻岩高校生の班による古着のリサイクルをテーマにした絵本づくりのアイデアに対して、別途オンライン会議にて、一緒に考え、アイデアを膨らませることができました。最終発表会においては、絵本で表現したそのコンセプトの発表がありました。

この取り組みは、真駒内駅前の再開発と密接に関係があり、また南区の今後の廃棄物や脱炭素に関する環境活動の拠点作りに大きく貢献することから、今年度の会合参加に際して協力金を拠出し、さらに今後も交流、啓発活動協力等を継続することとしました。

## 2. バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

### 2-1 北大寄附分野バイオマスコミュニティプランニングとの連携事業

今期は、本 NPO より3理事が寄附分野研究会にてオブザーバーとして参加し、ワーキンググループ1（生活系バイオマスコミュニティプランニング）の議論に加わりました。

研究会での議論内容を反映された書籍「バイオマスコミュニティプランニング～ローカルSDGsの実践～（古市徹、石井一英：(株)環境新聞社、2022年3月31日発行）」にて出版されました。

来期以降も寄附分野よりオブザーバーとしての参画を期待されており、引き続き支援を続けていきます。

### 2-2 市町村等との共同研究

今期は、O 町においてバイオガスプラントに関するアンケートを当該自治体住民に対して実施を計画していましたが、O 町役場内の組織改編の影響より、実施に至りませんでした。

しかし、来期は寄附分野との共同研究も始まることから、バイオガスプラントのみならず同町の環境政策についても含めたアンケートの実施を計画しております。

### 2-3 北海道バイオマスネットワーク会議との連携事業

2022年2月22日に開催された北海道バイオマスネットワーク会議主催のセミナー「北海道バイオマスネットワークフォーラム2022」にて本 NPO より10名の参加がありました。

来期以降も、北海道バイオマスネットワーク会議と連携を図り、セミナーの周知および参加補助を行ってまいります。



### 3. その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

#### 3-1 イベント補助

今期、費用発生案件は特にありませんでした。

#### 3-2 バイオマスカフェの開催

##### <第1回>

実施日時：6月29日（火）16：00～17：30

実施場所：Zoomによるオンライン会議

参加人数：12名

講演者：伊藤俊裕副理事長（岩田地崎建設株式会社）

概要：講演者から「建設業者としてのバイオマス事業への取り組みについて」の話題提供。

講演後、昨今のバイオマス事業の現状や課題について議論。

##### <第2回>

実施日時：8月4日（水）16：00～17：30

実施場所：Zoomによるオンライン会議

参加人数：12名

講演者：石川志保理事（北海道大学）

概要：講演者から「改めて考えよう、畜産現場におけるバイオマス利用」についての話題提供。

講演後、畜産の現状についての情報共有や畜産バイオマスの活用について議論。

##### <第3回>

実施日時：12月28日（水）16：00～17：30

実施場所：北海道大学 工学部材料化学棟 311 教室、Zoomによるオンライン併用

参加人数：14名

講演者：なし（事務局からの話題提供）

概要：「2021年を振り返るーバイオマスとゼロカーボン」と題して、事務局からの話題提供資料をもとに、参加者で2021年の国や自治体のゼロカーボン施策、バイオマス

や再エネの取り組みについて議論

## <第4回>

実施日時：1月19日（水）16：00～17：30

実施場所：北海道大学 工学部材料化学棟 311 教室、Zoom によるオンライン併用

参加人数：15名

講演者：仲埜公平様（ブルードットグリーン株式会社他）

概要：講演者から、「下川町『一の橋バイオビレッジ』など各地の地域エネルギー活用の取り組み」についての話題提供。講演後、地域におけるバイオマスの取り組みについて議論。

2021年度は、開催数を4回に増やした。コロナの状況を鑑み、オンラインも活用しながら実施した。自由に話ができる雰囲気作りを心掛け、講演者の方にもご協力いただいた。次年度も四半期に一度の開催を目指すとともに、皆さんが気楽に参加できるような仕掛けを考え、自由闊達な意見交換の場を引き続き提供していきたい。

### 3-3 会員研修

#### 1) 道内先端事例視察・展示会等

・コロナ禍もあり NPO バイオマス北海道独自の視察は実施しませんでした。廃棄物資源循環学会北海道支部見学会に参加しました。（石川理事の別紙見学記参照）

視察先：北海道ガス札幌東ビル技術・開発センター 参加人数：会員3名、他4名

## 2) 関連セミナーへの参加、出席

- 「ゼロカーボン北海道」貢献に向けたエネルギー地産地消セミナー  
～新エネルギーの最新動向と地域の取組事例～

日時：2021年8月25日 方式：オンライン開催

主催：北海道経済部 事務局：日本データサービス

- 特別講演会／研究ポスター発表会

特別講演「バイオマスの炭化による資源利用」 北大農学研究院 岩淵和則教授

日時：2021年11月26日 場所：北大学術交流会館 第1会議室

主催：廃棄物資源循環学会北海道支部

- シンポジウム 北海道らしい脱炭素社会を目指して

日時：2021年12月22日 場所：北大学術交流会館「講堂」、ライブ配信

主催：一財)北海道開発協会

- 再生可能エネルギーセミナー第2回

「地域主導の木質バイオマス熱利用」

日時：2022年2月4日 方式：オンライン開催

主催：一社)北海道再生可能エネルギー振興機構

令和3年度 「廃棄物資源循環学会北海道支部 見学会」

実施日時：令和3年11月26日（金）10：00～11：30

実施場所：北海道ガス株式会社 札幌東ビル内再生可能エネルギー利用設備

参加人数：7名

感想：同施設は、北国の快適な未来生活実現に向けて、技術開発と人材育成を強化する地域に貢献できる北海道のエネルギー環境技術の発信拠点を目指して2012年に整備された施設である。施設のエネルギーシステムの中心は、ソーラー・天然ガスハイブリッドシステムであり、屋上に設置されたソーラー集熱パネル（図1）が製造する温水と、天然ガスコージェネレーション（図2）が発電する際に発生する排温水を合わせてソーラー吸収冷温水発生機（図3）に送り、冷温水を製造して空調するシステムであった。このシステムを寒冷地で実用化するのは初めてであるそうなので、今後も運転データの収集・分析および設計ノウハウの確立が期待されるとともに、建物の基本機能を維持しつつ電源セキュリティの向上にも貢献するシステムであることから、垂直・水平展開の可能性を探ることが重要であると考えます。



図1 屋上に設置されたソーラー集熱パネル



図2 天然ガスを熱源とする  
コージェネレーション（35kW）



図3 ソーラー吸収式冷温水発生機

2021年度 活動計算書  
2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 バイオマス北海道  
(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
個人会員会費	61,000		61,000
企業・団体会員	390,000		390,000
うち（次年度分会費、負担相当分5,000円）	-5,000		△ 5,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取助成金等	0		0
4 事業収益			
事業収益等			0
5 その他収益			
受取利息	19	0	19
経常収益計	446,019	0	446,019
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	10,000		10,000
旅費交通費	56,840		56,840
借料	0		0
負担金	50,000		50,000
会議費	11,334		11,334
予備費	0		0
その他経費計	128,174	0	128,174
事業費計	128,174	0	128,174
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	431,550		431,550
人件費計	431,550	0	431,550
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	0		0
交通費	2,500		2,500
通信費	10,744		10,744
会議費	47,100		47,100
雑費	3,701		3,701
その他の経費計	64,045	0	64,045
管理費計	495,595	0	495,595
経常費用計	623,769	0	623,769
当期経常増減額	△ 177,750	0	△ 177,750
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
未収会費償却	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 177,750	0	△ 177,750
前期繰越正味財産額	1,958,786	0	1,958,786
次期繰越正味財産額	1,781,036	0	1,781,036

## 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	事業部門					事業部門計	管理部門	合計
	特定非営利活動に係る事業			その他の事業				
	普及・啓発 事業	研究開発 事業	その他必要 と認められる 事業	受託 事業	支援等 の事業			
I 経常収益								
1. 受取会費						0	451,000	451,000
うち(次年度分会費、 負担相当分5,000円)							△ 5,000	△ 5,000
2. 受取寄付金						0	0	0
5. その他収益						0	19	19
経常収益計	0	0	0	0	0	0	446,019	446,019
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0				0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	0	0	10,000			10,000		10,000
旅費交通費			56,840			56,840		56,840
借料		0	0			0		0
負担金	50,000		0			50,000		50,000
会議費	0		11,334			11,334		11,334
予備費	0		0			0		0
その他経費計	50,000	0	78,174	0	0	128,174	0	128,174
事業費計	50,000	0	78,174	0	0	128,174	0	128,174
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当						0	431,550	431,550
人件費計	0	0	0	0	0	0	431,550	431,550
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	0	0
交通費						0	2,500	2,500
通信費						0	10,744	10,744
会議費						0	47,100	47,100
雑費						0	3,701	3,701
その他経費計	0	0	0	0	0	0	64,045	64,045
管理費計	0	0	0	0	0	0	495,595	495,595
経常費用計	50,000	0	78,174	0	0	128,174	495,595	623,769
当期経常増減額	△ 50,000	0	△ 78,174	0	0	△ 128,174	△ 49,576	△ 177,750

2021年度 財産目録

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金		
銀行普通預金	1,786,036	
未収金		
未収金費	0	
流動資産合計		1,786,036
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,786,036
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
預り金	5,000	
流動負債合計		5,000
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		5,000
正味財産		1,781,036

2021年度 貸借対照表

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	1,786,036	
流動資産合計		1,786,036
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		1,786,036
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	5,000	
流動負債合計		5,000
2. 固定負債		
該当無し	0	
固定負債合計		0
負債合計		5,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		1,958,786
当期正味財産増減額		△ 177,750
正味財産合計		1,781,036
負債及び正味財産合計		1,786,036



## 会計監査報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道定款第15条6項に基づき、本法人の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの収支決算につき関係書類、帳簿の監査を行った結果、適正であると認める。

令和4年4月5日

特定非営利活動法人バイオマス北海道

監事

藤田 哲男



第2号議案 2022年度  
事業計画および予算（案）

2022年度の事業計画書（案）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業実施の方針

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業
- (3) その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定月日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額 (単位：千円)
バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業	○バイオマス利活用講座の開催及びITを利用した講座の公開	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	札幌市内、 道内市町村 1回	3名	道内市町村担 当者、関係企 業、団体等 200名	150
	○上記利活用講座実施 配布資料のHP データベース作成	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	北大内	2名	道内市町村担 当者、関係企 業、団体等 200名	0
	○バイオマス関連NPOとの連 携・交流	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	札幌市内、 道内市町村	5名	関係団体等 50名	50
バイオマス利活用を推進するための研究開発事業	○北大寄附分野バイオマ スコミュニティ「ラベック」との 連携事業	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	東京都、道内 各市町村	20名	道内市町村担 当者、関係企 業、団体等 200名	400
	○市町村等との共同研究	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	道内他市町村 2か所程度	4名	道内市町村担 当者、関係企 業、団体等 30名	300
	○北海道バイオマスネット ワーク会議との連携	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	道内	10名	道内市町村担 当者、関係企 業、団体等 200名	0
その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業	○イベント補助 (イベント後援等)	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄		10名	道内市町村担 当者、一般道 民等50名	0
	○バイオマスカフェ の開催(4回)	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	札幌市内	5名	会員等20名	60
	○会員研修 ①道内先端事例視察・展示 会等(4回)	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	札幌市内、札 幌近郊	4名	会員等40名	50
	②関連セミナー派遣	2022年4月1日～ 2023年3月31日迄	道内他	20名	会員延べ20名	20

2022年度 活動計画計算書（案）

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 バイオマス北海道  
(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
個人会員会費	80,000		80,000
企業・団体会員会費	450,000		450,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取民間助成金	0		0
4 事業収益			
事業収益等	0		0
5 その他収益			
受取利息	0		0
経常収益計	530,000	0	530,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	30,000		30,000
旅費交通費	730,000		730,000
借料	0		0
負担金	50,000		50,000
会議費	220,000		220,000
予備費	100,000		100,000
その他経費計	1,130,000	0	1,130,000
事業費計	1,130,000	0	1,130,000
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	210,000		210,000
人件費計	210,000	0	210,000
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	10,000		10,000
通信費	10,000		10,000
交通費	30,000		30,000
会議費	150,000		150,000
予備費	50,000		50,000
その他の経費計	250,000	0	250,000
管理費計	460,000	0	460,000
経常費用計	1,590,000	0	1,590,000
当期経常増減額	△ 1,060,000	0	△ 1,060,000
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 1,060,000	0	△ 1,060,000
前期繰越正味財産額	1,781,036	0	1,781,036
次期繰越正味財産額	721,036		721,036

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	普及・啓発 事業	研究開発 事業	その他必要 と認められ る事業	受託 事業	支援等 の 事業	事業部門計	管理 部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	530,000	530,000
2. 受取寄付金						0		0
3. 受取助成金等						0		0
4. 事業収益						0		0
5. その他収益						0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	530,000	530,000
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0			
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	30,000	0				30,000		30,000
旅費交通費	120,000	500,000	110,000	0	0	730,000		730,000
借料	0	0	0			0		0
負担金	50,000	0	0			50,000		50,000
会議費	0	200,000	20,000			220,000		220,000
予備費	0	0	100,000			100,000		100,000
その他経費計	200,000	700,000	230,000	0	0	1,130,000	0	1,130,000
事業費計	200,000	700,000	230,000	0	0	1,130,000	0	1,130,000
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
人件費計	0	0	0	0	0	0	210,000	210,000
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	10,000	10,000
通信費						0	10,000	10,000
交通費							30,000	30,000
会議費							150,000	150,000
予備費						0	50,000	50,000
その他経費計	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000
管理費計	0	0	0	0	0	0	460,000	460,000
経常費用計	200,000	700,000	230,000	0	0	1,130,000	460,000	1,590,000
当期経常増減額	△ 200,000	△ 700,000	△ 230,000	0	0	△ 1,130,000	70,000	△ 1,060,000